

入院者訪問支援事業の進捗状況について

入院者訪問支援事業 | 概要



精神科病院に入院している支援対象者の自尊心低下、孤独感、日常の困りごと等の解消が期待される。

徳島県における事業の進捗状況について | 訪問支援員養成研修

- 都道府県は、訪問支援員の業務を適正に行うために必要な知識・技能等を修得するための研修を実施する。
- 都道府県知事が行う研修は、①精神保健、医療及び福祉の現状及び課題、②入院者訪問支援事業の概要、③入院者訪問支援員として必要な技能についての講義及び演習とする。（令和6年度以降）
- 研修を修了した者のうち、都道府県知事が選任した者を入院者訪問支援員と定める。（令和6年度以降）

訪問支援員養成研修



- ・ 訪問支援員としての活動を希望する者が対象
- ・ 講義：5時間程度（オンライン受講可）
- ・ 演習：6時間程度（原則、対面で実施）
- ・ 実施主体：都道府県等・内容：令和5年度は国の通知に準拠
令和6年度以降は省令に準拠



【講義】

訪問支援の意義や訪問支援員の役割等を理解した上で、訪問支援員として必要な基本的知識を習得する

【演習】

講義で得られた基本的知識を基礎としつつグループワークやロールプレイ等を通じて訪問支援員として必要とされるより実践的な知識や技能を習得する



対面演習（受講者：30名）

日時：令和7年3月20日（木）

場所：アスティとくしま

○講師

国立精神・神経医療研究センター
精神保健研究所
特任研究員 名雪 和美 様

PwCコンサルティング合同会社
マネージャー 吉野 智 様

○シンポジスト

一般社団法人 徳島県精神科病院協会
会長 櫻木 章司 様

社会医療法人 あいざと会
地域活動支援センターことじ
ピアサポーター 石本 典子 様

○ファシリテーター

徳島県精神保健福祉士協会 6名

徳島県における事業の進捗状況について | 先行事例実施

訪問支援員

29

令和8年1月時点

選任

専門職 23名

ピアサポーター 6名

先行事例の実施



課題等を精査することを目的に
令和7年度は先行事例を実施

実績
5
事例



訪問支援員10名を派遣 (2人1組×5事例)

徳島県における事業の進捗状況について | 今後のスケジュール

	令和7年度	令和8年度	令和9年度以降	
会議	<div data-bbox="285 325 471 408"> <p>推進会議 (R8.3.18)</p> </div> <p>実施方針の確定</p>	<div data-bbox="788 347 996 430"> <p>実務者会議</p> </div> → <div data-bbox="1132 347 1317 430"> <p>推進会議</p> </div>	<div data-bbox="1561 307 1769 390"> <p>実務者会議</p> </div> <div data-bbox="1707 397 1874 480"> <p>推進会議</p> </div>	
訪問支援員		<div data-bbox="765 537 950 620"> <p>養成研修 (夏頃)</p> </div>	<div data-bbox="1209 537 1491 620"> <p>フォローアップ研 修(時期未定)</p> </div>	
面会交流	<div data-bbox="278 731 479 805"> <p>先行事例</p> </div>	<div data-bbox="502 731 1874 805"> <p>本格実施</p> </div>		
周知・協力依頼		<div data-bbox="502 882 664 965"> <p>説明会 (4月頃)</p> </div>	<div data-bbox="285 971 1870 1037"> <p>随時、関係機関へ周知および協力依頼</p> </div>	

DPAT体制について

DPAT体制について | R7年度当初(徳島県)

■DPAT統括者:4名

徳島県立中央病院2名、精神保健福祉センター2名

■日本DPAT:3チーム(16名)

徳島県立中央病院

(職種)医師2名、看護師6名、業務調整員2名

徳島大学病院

(職種)医師1名、看護師1名、業務調整員1名

TAOKAこころの医療センター

(職種)医師1名、看護師1名、業務調整員1名

■徳島DPAT(ローカルDPAT):18チーム(99名)

徳島大学病院、民間16病院、精神保健福祉センター

(職種)医師20名、看護師32名、業務調整員47名

DPAT体制について | R7年度当初(全都道府県)

※医療法改正に伴い、既存体制をリセットし、新たな体制を作るため、DPAT登録医療機関、隊員数は0とした()内はリセット前の数

No.	自治体名	医療機関数	DPAT隊員数				No.	自治体名	医療機関数	DPAT隊員数			
			医師	看護師	業務調整員	合計数				医師	看護師	業務調整員	合計数
1	北海道	15	32	39	49	120	25	滋賀県	3	3	19	8	30
2	青森県	9	4	21	16	41	26	京都府	2	9	13	11	33
3	岩手県	5	18	37	49	104	27	大阪府	13	30	63	43	136
4	宮城県	2	3	2	6	11	28	兵庫県※	0(36)	0(37)	0(42)	0(40)	0(119)
5	秋田県	2	4	6	7	17	29	奈良県	2	3	3	3	9
6	山形県	7	23	59	57	139	30	和歌山県	4	3	21	8	32
7	福島県	12	22	32	44	98	31	鳥取県	0	0	0	0	0
8	茨城県	9	33	106	69	208	32	島根県	5	4	3	6	13
9	栃木県	17	23	46	36	105	33	岡山県	13	17	39	40	96
10	群馬県	14	32	100	49	181	34	広島県	21	55	52	31	138
11	埼玉県	13	19	25	26	70	35	山口県	6	9	16	14	39
12	千葉県	18	53	87	90	230	36	徳島県	18	24	40	51	115
13	東京都	34	91	153	155	399	37	香川県	9	23	42	24	89
14	神奈川県	25	58	84	94	236	38	愛媛県	3	30	143	112	285
15	新潟県	12	19	63	45	127	39	高知県	4	6	10	14	30
16	富山県	3	10	9	15	34	40	福岡県	28	63	73	59	195
17	石川県	20	51	93	103	247	41	佐賀県	5	37	142	132	311
18	福井県	3	4	12	14	30	42	長崎県	9	1	11	4	16
19	山梨県	10	17	30	31	78	43	熊本県	21	14	61	37	112
20	長野県	6	24	30	37	91	44	大分県	7	21	33	35	89
21	岐阜県	7	9	18	17	44	45	宮崎県	10	19	87	65	171
22	静岡県	15	36	56	47	139	46	鹿児島県	5	15	17	21	53
23	愛知県	16	42	68	60	170	47	沖縄県	14	37	66	71	174
24	三重県	9	33	64	58	155							

DPAT体制について | R7年度末時点

■日本DPAT:3チーム(16名) → 4チーム(19名)

徳島県立中央病院

(職種) 医師2名、看護師6名、業務調整員2名

徳島大学病院

(職種) 医師1名、看護師1名、業務調整員1名

TAOKAこころの医療センター

(職種) 医師1名、看護師1名、業務調整員1名

むつみホスピタル

(職種) 医師1名、看護師1名、業務調整員1名

DPAT体制について | 運営委員会の開催、マニュアル整備

■令和8年2月3日(火)DPAT運営委員会

議題

- (1) 徳島DPAT運営要綱の一部改正について
- (2) 徳島DPAT活動マニュアルの作成について
- (3) その他



DPAT体制について | 令和8年度大規模地震時医療活動訓練について

(1)実施日:

令和8年11月27日(金)・28日(土)

(2)訓練想定:

南海トラフ地震により、静岡県・愛知県・三重県・和歌山県・徳島県・高知県・宮崎県の7県に甚大な被害が発生

(3)参考: 令和7年度(実施日: 令和7年9月5日(金)・6日(土)) DPAT関係者ロードマップ

	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
関係者会議	第1回 (3/21)			第2回 (上旬)		第3回 (下旬)	訓練実施 9月5・6日	
議事	訓練素案の 提案			訓練概要の 共有		訓練実施計画 の共有		
DPAT 事務局	訓練案内発出		プレイヤー コントローラ ー募集		プレイヤー コントローラ ー確定	留意事項発出	訓練実施 9月5・6日	全体訓練振り 返り
各自治体		第1回 打ち合わせ	第2回 打ち合わせ	第3回 打ち合わせ	第4回 打ち合わせ	最終 打ち合わせ		訓練振り返り
		訓練有無確定		必要 プレイヤー コントローラ ー数確定				